子どもたちを病気から守る

予防接種について



~ 23 年度版~

■問い合わせ先 保健福祉課 ☎(62)2115

●予防接種の意義

予防接種はこれまで、さまざまな病気の流行の防止に大きな成果をあげてきました。

感染症がまん延する時代ではなくなった今日では、予防接種によって獲得した免疫が、感染症の流行を抑えていることは忘れられてしまいがちです。

しかし、国民全体の免疫水準を維持するためにも、 予防接種は非常に重要です。

●予防接種を受けましょう

お母さんから赤ちゃんに受け継がれた病気に対する抵抗力は、赤ちゃんの成長とともに失われていきます。予防接種は、ウイルスや細菌の毒性を弱めて(または死滅させて)作ったワクチンを体内に入れることで、病気から子どもたちを守るための免疫を作ります。各予防接種の対象年齢などを確認し、忘れずに受けましょう。

予防接種法に基づく予防接種(定期接種)の一覧

	予防接種の種類	対象年齢	回数	接種の方法、注意点など	区分	
乳幼	ポリオ	3カ月~7歳6カ月未満	2回	集団接種です。日程表(右ページ)をご覧ください。 生後 3 カ月〜 18 カ月が標準的な接種時期です。 ※接種の前後 30 分は飲食をしないでください。	集 団 接	
	BCG	3 カ月~6 カ月未満 1回 3~4 カ月健診時に接種します。 ※接種期間が短いので優先的に接種してください。		種		
	三種混合1期 (ジフテリア・破傷 風・百日ぜき)	3カ月~7歳6カ月未満	4回	3~8週間の間隔で3回接種し、3回目の12~18カ月後に 4回目を接種。BCGが済んだら接種を開始しましょう。		
児	麻しん風しん1期	1歳~2歳未満	1回	麻しん風しんのいずれかにかかったことがある人も混合ワクチンを接種できます。かかっていないほうのワクチンだけを接種することも可能です ※23年3月末に、対象者あてに予診票を送付しています(2期分だけ)。		
	麻しん風しん 2期	小学校入学前年の子ども (17年4月2日~ 18年4月1日生まれ) ※接種期限:24年3月末				
	日本脳炎1期	3 カ月~7 歳 6 カ月未満 ※特例については右ページに記載	3回	1~4週間の間隔で2回接種し、2回目のおおむね1年後に 3回目を接種。標準的な接種開始年齢は3歳です。	個別	
小	三種混合2期 (ジフテリア・破傷風)	11 歳~ 13 歳未満	1回	12 成になる削に接種を受けまします。		
学生	日本脳炎2期	9歳~13歳未満	1回			
中学生	麻しん風しん3期	中学1年生 (10年4月2日~ 11年4月1日生まれ) ※接種期限:24年3月末	1 回	麻しん風しんのいずれかにかかったことがある人も混合ワクチンを接種できます。かかっていないほうのワクチンだけを接種することも可能です。 ※ 23 年 3 月末に、対象者あてに予診票を送付しています。		
	麻しん風しん4期	高校3年生相当年齢の人 (5年4月2日~ 6年4月1日生まれ) ※接種期限:24年3月末	1回			

●予防接種に必要なもの

予診票と母子手帳が必要です。

●転入した人へ(7歳までの子どもがいる人)

本町に転入する前の、お子さんの接種履歴を調査 票で確認の上、必要な予診票を配布します。 通常、転入手続きの際に保健福祉課窓口で、もし

くは転入翌月に文書で調査票の記入 をお願いしていますが、7歳までの 子どもがいるにもかかわらず、本町 に転入後、調査票が届いていない人 は、保健福祉課健康づくり業務まで ご連絡ください。



●ポリオ集団接種の日程などについて

		実施日	該当地区	受付時間	会場		
	季	5月12日(木)	今年度は終了しました				
4	≨ [5月18日(水)	7年反は於」しました				
禾	火	10月5日(水)	猪苗代・翁島・長瀬	午後1時30分~午後2時30分	 猪苗代町農村環境改善センター		
4	季	10月19日(水)	千里・月輪・吾妻	十後1時30分~十後2時30分	角田10回長門環境以音セノダー		

※該当地区は、当日の接種者数を均等にするための目安です。子どもの体調などを見ながら、都合のいい日を 選んで接種を受けてください。

●日本脳炎の特例について

広報6月号の折り込みでお知らせしたとおり、7年6月~19年4月1日生まれ(今年度の高校1年生相当の一部から今年度中に5歳になる人)の人は、日本脳炎の未接種分の接種を受けることができるようになりました。母子手帳を確認し、1期接種(計3回)が完了していない場合は、公費で接種を受けることができますので、母子手帳を持参の上、保健福祉課健康づくり業務までお越しください。予診票をお渡しします。

今年度の小学3・4年生については、6月17日付で個別に通知をしていますので、通知内容をよく確認して、今年度中に接種を開始してください。

2期接種を希望する場合は、9歳以上で1期接種 が完了していれば接種できます。

詳しくは、保健福祉課健康づくり業務まで問い合わせてください。

●子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌の 予防接種について(任意接種)

本町では、4月から子宮頸がん・ヒブ・小児用肺 炎球菌の各予防接種に対する費用の一部助成(接種 1回につき、費用の約9割を公費で負担)を開始し ました。

子宮頸がん予防接種は、中学1年~高校1年生の 女性、ヒブ・小児用肺炎球菌は生後2カ月以上5歳 未満の乳幼児が費用助成の対象となります。必要な 接種回数は、子宮頸がんが3回、ヒブと肺炎球菌は 最大で4回です(接種を開始した時の年齢で、必要 な接種回数が変わります)。

詳しくは、保健福祉課健康づくり業務まで問い合わせてください。

なお、これらの予防接種は任意接種ですので、ご 家族やかかりつけの医師とよく相談した上で接種を 受けてください。

●予防接種実施医療機関 ※事前に予約をしてください。

医療機関名	住 所	電話番号	定期 接種	子宮頸がん など
浅見クリニック	字芦原 84-1	(63) 2200	0	0
小川医院	字カキ田 393	(62) 2132	0	0
かねこ内科・外科クリニック	大字千代田字二百苅 69-2	(72) 0660	0	0
野﨑医院	大字川桁字西幸野 2191	(66) 2245	0	_
マリアクリニック	大字川桁字元寺 2403-1	(66) 2700	0	0
矢吹医院	字古城町 99-1	(62) 2169	0	0
六角外科泌尿器科医院	字本町 44	(62) 2640	0	0

※福島県広域予防接種を実施している医療機関であれば、町外でも接種ができます。 町外での接種を希望する場合は、事前に接種を予定している医療機関か保健福祉 課に問い合わせてください。



◆注意事項 — notice —

①予防接種には接種回数や接種間隔など、さまざまな決まりがあります。町からの通知や予防接種手帳などをよく読み、予防接種の必要性や副反応などについて、十分納得した上でそれぞれの接種を受けてください。

- ②接種をする時に気になること、子どもの体調、 基礎疾患やアレルギーなどについては、必ず医師 に伝えてください。
- ③予診票を無くした場合は、母子手帳を持って保 健福祉課までおいでください。接種履歴を確認し た上で、新たに予診票を配布します。